



WTO

加盟後の中国

編集者 ● ローレンス (Laurence J. Brahm)

五洲伝播出版社

編集者 ● ローレンス (Laurence J. Brahm)



WTO 加盟後の中国

翻訳 ● 施殿文 楊 莉 趙玉琳

夏祖芬 陳栄祥 張毓英

校閲 ● 林国本

五洲伝播出版社

图书在版编目 (CIP) 数据

入世后的中国 / (美)龙安志 (Brahm, L.) 编著; 施殿文, 张毓英等译.
—北京: 五洲传播出版社, 2004.1

ISBN 7-5085-0424-0

I. 入...

II. ①龙... ②施... ③张...

III. 世界贸易组织—规则—影响—经济—中国—日文

IV. F125

China after WTO

Copyright©2002 by Laurence J. Brahm

Published by China Intercontinental Press. For information address China
Intercontinental Press, 31 Beisanhuan Zhonglu, Beijing, 100088, China.

All rights reserved.

Printed in the People's Republic of China

入世后的中国

编 著 者	(美)龙安志
译 者	施殿文 杨 莉 赵玉琳 夏祖芬 陈荣祥 张毓英
校 阅 者	林国本
责任编辑	邓锦辉
出 版 者	五洲传播出版社 (北京北三环中路 31 号 邮编: 100088)
承 印 者	北京华联印刷有限公司
开 本	889 × 1194mm 1/32
印 张	10.75
字 数	240 千
版 次	2004 年 1 月第 1 版
印 次	2004 年 1 月第 1 次印刷
书 号	ISBN 7-5085-0424-0/F · 180
定 价	40.00 元

編集者のプロフィール



ローレンス氏はアメリカの政治・経済学者、弁護士であり、現在は南竜グループ (Naga Group Limited) CEO である。20 年来、氏は「フォーチュン 500 ベスト」に中国の投資戦略コンサルティング・サービスを提供し、中国政府の経済・金融改革のビジネス顧問として活躍している。氏は『中国の世紀』『中国』など中国に関する本を 20 余冊編集した。現在は北京に事務所を設け、メディアに対する活動とテレビ番組の開発に取り組んでいる。

編集者のことば

WTO加盟後の中国

ローレンス (Laurence J. Brahm)

南竜グループ (Naga Group Limited) CEO

WTO(世界貿易機関)加盟後の中国には急激な変化が現われ、改革精神にあふれる国となろう。WTOは対中投資と貿易自由化をいっそう促す触媒として、中国の複雑な投資環境を更に国際ルールに合致させ、外国資本がこれまでにない規模と範囲で中国に進出することを奨励することとなる。

WTO加盟後、中国の投資と貿易体制には大きな構造的変化が生じ、各分野、各業種にはかつてない発展のチャンスをもたらすことになる。下記の重要な分野において、中国はこれまでのさまざまな制限を取り払い、外国の業者にチャンスをもたらし、最も直接的かつ積極的な役割を果たすことになる。

- 最も敏感な一部の部門以外、あらゆる分野における外国業者の持株権に対する制限は取り払われることになる。
- 中国の沿海地区における投資者に対する所得税免除は内陸部で新投資プロジェクトを立件する投資者へも広げられる。

- 中国のサービス業の発展を促すため、外国業者が保険、金融、輸出入貿易、商業、証券、通信と観光などこれまで保護されてきた業種に進出することを奨励することになる。
- これまで沿海都市のみに進出が限られていた外国投資企業は、今後すべての地域への進出が認められる。
- 外国業者の投資に関する審査・認可手続きは簡略化され、地方政府の最高審査・認可権に対する制限は廃止され、外資の導入を促すため、地方の主管部門に十分な審査・認可権を与える。
- 外国投資側が設立した持株会社の経営範囲はさらに拡大され、さらに大きな管理・経営自主権が与えられる。

これと同時に、よく知っておかなければならないのは、部門と地域によってはその開放の度合いが異なることである。中国は国土が広く、各地の状況が異なっているため、外資企業が中国でスムーズに業務を展開するには、十分な忍耐力と勤勉さが必要で、しかも突っ込んで現地市場の状況と発展の状況を調べなければならない。WTO加盟がもたらすチャンスを生かすには、実情に合った措置をとらなければならない、これはすべての人にとって傾聴に値する重要なアドバイスである。

「WTO加盟後の中国」に関する最新情報を提供するため、編集者の依頼に応じ、中国駐在の著名な専門家の方々がどのようにして変化しつつある環境の中で業務を展開していくかについて懇切な提案をおこない、WTO加盟後の中国で起こっている変化が中国での投資と業務展開にどのような影響を及ぼすかについての確な見解を開陳していただくことにした。この本の後半に付け加えた中国と外国合弁企業の契約書および労働契約書のサンプル、『外国業者投資方向指導規定』は外国業者と企業家の参考に供するものである。なお、2003年3月に開催された第10期全国人民代表大会第一次会議で国務院機構改革案が可決され、商務部など新しい機構が設立され、この本と密接な関係がある国家経済貿易委員会と対外経済貿易部が撤廃され、これらの大きな変動が外国投資者と業者の今後の中国における経営活動に対する影響を考えて、上記の国務院機構改革案を付録4としてこの本の後半に付け加えることにした。

これら最新の情報を収集、提供するため、編集者は東奔西走して大き

なエネルギーを費やした。しかし、中国の経済は転形期にあり、そのダイナミズムに富む経営環境が絶えず変化しているため、読者のみなさまが重要な経営方針を決める際に、専門家の意見に耳を傾けることをお勧めし、百パーセントこの本の内容を参考にするようなことはしないようお願いしたい。

以上にかんがみ、諸分野で活躍している優れた方々に依頼してこの本を編纂してもらったわけである。この本のために序文を書いて下さった石広生元対外経済貿易合作部部長に感謝し、趙啓正国務院新聞弁公室主任、郭長建同新聞弁公室第3局局長と呉偉女史のバックアップと協力を得たことに対し謝意を表し、各章を編纂し、最後の出版に尽力されたすべての専門家の方々に謝意を表するものである。皆様の努力によって上梓の運びとなった『WTO加盟後の中国』は外国の投資者と業者に対し中国の現行の法律と環境情報を提供する最も権威のある出版物であると言える。

序 一

WTO加盟は、中国のために チャンスに満ちた新しい時代を 切り開く

石 広 生

元中国対外貿易経済合作部部長

改革開放いらい、中国の対外貿易は急速な発展をとげた。2002年における中国の輸出入貿易総額は世界で5位の6208億ドルに達し、そのうち、輸出は3256億ドル、輸入は2952億ドルであった。対外貿易の規模の拡大につれ、輸出品の構成も著しく改善され、良質で安価な中国商品は世界各国の人びとの間で好評を博している。中国の貿易パートナーは世界の至る所におり、1978年当時の数十カ国から現在の227カ国と地域に拡大した。

外資導入は中国の対外開放をスターさせるための措置であり、WTO加盟の際、中国に認可された外商投資プロジェクトは累計34万件余りに達し、外資実際利用額は3078億5100万ドルとなった。発展しつつある中国は世界各国の資金と技術のために巨大なマーケットとビジネスチャ

ンスを提供するようになっている。現在、中国に投資している国と地域は180余りで、世界ベスト500社の大手企業の中で中国に投資しているのは400社近くに達し、その他の大手多国籍企業も中国進出のために積極的な準備を行っている。特にWTO加盟後の中国は、外国の投資者にさらに多くの、より良い機会を提供するようになっている。

WTO加盟後の中国は、より積極的な姿で対外開放を拡大し、実物貿易、サービス貿易などの分野で市場をいっそう開放し、徐々に商業、輸出入、金融、保険、証券、通信、観光と仲介コンサルタントなどの分野で対外開放を推し進めることになっている。中国市場には巨大な潜在的可能性があり、大きな将来性がある。対外開放の進行と経済力の増強にともない、中国経済と世界経済とのつながりはさらに緊密になり、この巨大な市場の潜在的可能性はだんだん現実的な市場購買力に転化し、世界各国の商工業界にさらに多くのビジネスチャンスを提供することになる。

当然ながら、WTO加盟は、中国にとってチャンスでもあれば、チャレンジでもある。中国の総合的経済レベルはそれほど高くなく、国有企業の改革もまだ決着がついておらず、一部の業種の国際競争力もそれほど強くなく、近代的市場のニーズに適応する法律法規体系もそれほど健全なものとなっていないからである。WTO加盟後、中国の経済管理体制がそれに適応することができず、そのため、いちはやくそれを改善しなければならず、一部の業種と企業にある程度の衝撃を与え、マイナスの影響をもたらすこともありうる。しかし、改革・開放20数年来、中国の総合的国力は絶えず向上し、複雑で変化に富む国際経済情勢に対応する経験も蓄積され、国際競争力とリスクに耐える力も大いに強められ、改革・開放が進めば進むほど、リスクに耐える力が強くなるであろう。そのため、改革の深化、対外開放の拡大を通じて、プレッシャーをバネとして奮起し、WTO加盟後の挑戦を迎え打ち、国民経済の新しい発展を促進する決意を固めている。

中国のWTO加盟は、その対外経済貿易が新たな発展段階に入り、中国と世界との経済貿易協力が新たな段階に入ることを促し、世界経済の新しい世紀における安定と繁栄のために役立つものと確信している。

序 二

中国のWTO加盟について

マイケル・ファースト (Michael Furst)

アメリカ商会エグゼクティブ・ディレクター

中国のWTO加盟は外国の会社にとって非常に重要なことである。その理由としては次の二つがあげられる。

第一は、中国のWTO加盟の取り決めのタイム・テーブルに基づいて、貿易障壁は取り払われ、数多くの部門の関税とその他の貿易障壁がある程度引き下げられつつあるということである。中国に駐在しているアメリカのビジネス関係者は、中国は約束を誠実に守っていると楽観視している。中国の最高当局もその法律とシステム運営の改善を加速することに関する約束の履行を何度も強調している（大きな努力を払う必要があるが）。

第二は、中国のWTO加盟は決して貿易面の取り決めだけではなく、なにはさておき中国指導層の政治的声明と承諾であり、中国がいまの改革・開放政策の実施を引き続き加速することを明らかにしたものである。実際には、中国政府はWTO加盟をその執政期における大きな業績と見なしており、江沢民主席は自らWTO加盟を含む数多くの重要な業績で歴史に名を残すことを望んでいる。同時に、中国政府の中の改革派も

WTO加盟を改革の障害を取り除くためのテコにすることを望んでいる。現在、中国の改革事業は十字路に立っており、巨大で低効率の国有部門は救いようがないようであり、多くの分野の国内需要は低下し、失業率は上昇し、行政の腐敗がますます増える一方である。

中国の体制改革者にとっては、さまざまなルールの上にうちたてられたWTO以外に、以上に述べたもろもろの問題を解決できる対策は一つもないが、WTO加盟によって、法制整備の促進、責任の追究と行政管理の透明度の向上、外資企業に対する内国民待遇の改善、国際ルールの遵守、さらに多くの外資の導入が可能となる。要するに、WTOは中国のために市場経済に通じるルートをもたらすことになり、これまで内部において解決できなかった地方と部門の独占現象の打破に役立つ。今では、改革派はWTOの希望と要請を必要な改革を実行する正当な理由として打ち出せるようになっている。

このほかに、中国はさらに自国の面子(メンツ)を保つことができた。中国にとって、WTOのメンバーになることはかつてのプライドを取り戻すことになった。竜永図元対外貿易経済合作部副部長があるエネルギー資源閣僚会議の席上で参加者に対し述べたように、中国は国連、世界銀行、IMF(国際通貨基金)、国際オリンピック委員会(IOC)およびその他の数多くの国際組織のメンバーである以上、どうしてWTOに加盟することができないのか？

外交の面から見て、WTO加盟は中国とアメリカとの正常な貿易関係を永久的に解決し、両国間に長期間存在してきた障壁を取り除いた。これまでの年一回の恒例の最恵国待遇認可制度は、その結果がいつも予想通りであったにもかかわらず、双方の大量の資源が消耗されたため、米中両国の政府指導者はみなこの問題を切り捨てようと考え、アメリカの商工業界もこれにまったく同感であった。彼らが最も目にしたくなかったことはおそらく不確実性以外のなにものでもなく、たとえ一時的な不確実性でも目にしたくなかったのである。

中国は、現行の国際秩序がそれほど公平なものではないと考え、国際分野のゲームのルールに関する部分的建て直しが望ましいと考えたこともあり、WTOから排除されれば、その目標を達成することはできない。中国の指導者はグローバル化の急激な発展を見て、こうした繁栄に向う

競争に参加することを望んでいた。中国は世界経済のグローバル化の競争への参加を選んだのである。

文化の面では、中国はWTO加盟後、未来において発生するかもしれない試練に耐えられれば、この行動は中国の歴史における一里塚(中国が「世界に向かう盛事」となるにちがいない。2001年は確かに輝きにみちた1年であった。WTO加盟のほか、中国のナショナル・サッカーチームがワールドカップの決勝レースに進出し、北京がオリンピック誘致に成功した時、大勢の人たちから、中国人がオリンピック委員会が公表した表決の結果を耳にした時、その興奮ぶりはかつての「4人組」失脚当時の気持と比較することができると言われた。

またすばらしいニュースとしては、あらゆる障害と障壁(自動車部品の国産率が50%を下回らないという規定のほか)はWTO加盟に関する米中の取り決めの中で解決され、たとえば、自動車の輸入割り当て額は直ちに年間60億ドルに上昇し、しかも年々増加し、2005年までに輸入制限を全部撤廃し、関税は2006年半ばまでに25%に引き下げ、外資企業が3年の過渡期を経て徐々に自動車の輸入、卸売り、販売とメンテナンス面での権利を獲得し、フォード・クレジット(Ford Credit)とGMACなど外国のノンバンク機構は中国のWTO加盟後直ちに中国の内陸部で自動車購入ローンを提供する権利を獲得することになった。このほか、自動車組み立て業種の国産化比率、技術移転と外貨のバランスなどに関する規制も撤廃されることになる。いうまでもなく、これらの規制の変更は外国と中国の自動車メーカーに深遠な影響をもたらすものと期待されている。

展望は明るいが、楽観的な見方は実務的な姿勢でセーブしなければならない。最近になっても、中国の広はん人々はもとより、中国政府の数多くの部門は、中国のWTO加盟交渉代表団の行った承諾に対しなにも知っていない。法治、透明度と内国民待遇(地方待遇はさておき)の実現は長年の努力を経なければならない。

最後に、中国が外国の投資者(事実上、中国の投資者も含む)を引き付けるには、合理的なビジネスのやり方にリターンをもたらす経営環境が必要である。個人と組織が今後価格、品質およびその競争環境における適合性に基づいて買うかどうかを決め、ファジーで定かではない政治的要

素によってビジネスの方策を決めないよう願っている。これは中国全体にとって重要なことであり、同時に中央政府の「西部大開発」を含む多くの方策にも適用するものである。

中国の経済形態を変えつつあるこれらの改革がスムーズに実施されれば、中国の巨大な潜在的可能性の大部分は現実となるであろう。

目 次

編集者のことば

- WTO 加盟後の中国..... ローレンス (Laurence J. Brahm) i
- 序 一
- WTO 加盟は、中国のためにチャン..... 石 広 生 iv
スに満ちた新しい時代を切り開く
- 序 二
- 中国の WTO 加盟について..... マイケル・ファースト vi
(Michael Furst)

前書き

- WTO は中国の未来を変える..... ジョン・レオナード 1
(John C. (Sean) Leonard)

第一部分 中国市場

第 1 章

- 中国市場に進出..... スコット・クロニック (Scott Kronick) 21
リリー・プー (Lily Pu)

第 2 章

- 中国のためにプラン..... スコット・クロニック 29
ドを作り上げる (Scott Kronick)

第 3 章

- WTO 加盟後の中国の広告業..... 宋 秩 銘 40

第 4 章

- 取次販売..... タングラス・ガーバー (Douglas Gerber) 56

第二部分 投資と保障の措置

第5章

投資.....	サラ・ヤング・ボスコ (Sara Yang Bosco)	73
	ポール・マッケンジー (Paul McKenzie)	

第6章

投資プロジェクト...	サラ・ヤング・ボスコ (Sara Yang Bosco)	81
の審査・認可	ポール・マッケンジー (Paul McKenzie)	

第7章

権益の保護.....	ジョン・エイチルベルガー (Jon Eichelberger)	85
	林梅音 (Lim Mei Yin)	

第8章

知的所有権保護...	ジョン・エイチルベルガー (Jon Eichelberger)	89
	林梅音 (Lim Mei Yin)	

第三部分 財務管理

第9章

会社の税務.....	ダンフー (Dawn Foo)	99
------------	-----------------	----

第10章

個人所得税.....	メイ・ホアン (May Huang)	107
------------	--------------------	-----

第11章

税関、関税と貿易.....	ジョン・ロビンソン (John Robinson)	112
---------------	---------------------------	-----

第四部分 人的資源の管理

第12章

労働力の供給源と募集.....	ボニー・ファースト (Bonnie Furst)	123
-----------------	--------------------------	-----

第13章

採用と解雇.....	ボニー・ファースト (Bonnie Furst)	132
------------	--------------------------	-----

第14章

育成・トレーニング.....	ボニー・ファースト (Bonnie Furst)	156
----------------	--------------------------	-----

第五部分 通信と情報化

第15章

通信.....	ピーター・ラブロック (Peter Lovelock)	179
	タラ・トラングッフ (Tara Tranguch)	

第16章

インターネットとeコマース...	ラブロック (Peter Lovelock)	203
	トラングッフ (Tara Tranguch)	

第17章

ニュー・メディアの発展の可能性...	ラブロック (Peter Lovelock)	232
	トラングッフ (Tara Tranguch)	

第六部分 金融

第18章

中国の証券市場.....	李祥生 (Jonathan Li)	259
--------------	-------------------	-----

第19章

銀行と金融業.....	ウィリアム・スタンサー (William Stancer)	279
-------------	-------------------------------	-----

第20章

保険業.....	トニー・チュン (Tony Cheung)	293
----------	-----------------------	-----

付 録

付録一

合併企業用契約書のサンプル.....	299
--------------------	-----

付録二

労働契約のモデル書式.....	315
-----------------	-----

付録三

外国企業投資方向指導規定.....	324
-------------------	-----

付録四

中国における国務院機構の改革案.....	328
----------------------	-----

前書き

WTO は中国の未来を変える

ジョン・レオナード (John C. (Sean) Leonard)

香港大学法律学部国際金融法アジア研究所弁護士兼法律顧問

ジュネーブへの長い道のり

2001年12月のジュネーブと北京は、静まり返っていて何も祝賀行事が催されていなかったようで、中華人民共和国はこのようにして世界貿易機関——WTO に加盟した。

中国のジュネーブへのロングマーチ(長征)は『GATT1947』締約国になる申し入れをおこなった日から、15年間を費やした。こうした多国間貿易条約は『GATT95』及びその関連取り決めの前身でもあり、当該『GATT95』の実施は今のところWTOという世界貿易機関の事務局によって監督されている。中国側の首席貿易交渉代表、元対外貿易経済合作部(MOFTEC)副部長の竜永図氏は、これまで中国の長い歴史の中で、中国人民の経てきた戦いで8年を超えたものは一つもなかったと語った。

中国の長くて苦渋にみちたWTO加盟への過程を考慮に入れて、